

2005年夏（6～8月）の東北地方の天候

- ・遅い梅雨入り・梅雨明け
- ・台風第7号、第11号の接近

（1）2005年夏（6～8月）の概況

梅雨前線の北上は遅く、梅雨入りは東北南部では6月15日ごろ、東北北部は6月25日ごろで、特に東北北部の梅雨入りは遅い方からの順位で5位となった。7月は梅雨前線や上空の寒気、オホーツク海高気圧からの冷たく湿った東風の影響で曇りや雨の日が多く、気温も低い日が多くかった。また、太平洋高気圧の北へ張り出す時期が遅く梅雨明けが遅れた。梅雨明けは東北南部、東北北部共に8月4日ごろであり、東北南部の梅雨明けは遅い方からの順位で3位となった。梅雨明け後は、太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日もあったが長続きせず、8月中旬以降は東北南部を中心に曇りや雨の日が多くかった。なお、7月26～27日には台風第7号が三陸沖を北上し東北太平洋側を中心に大雨や強風となった。8月25～26日は台風第11号の影響で東北南部では大雨となった。

3か月平均気温は高い。3か月間降水量は平年並。3か月間日照時間は少ない。

（2）各月の天候経過

6月： 梅雨前線は本州南岸から日本の南海上に位置することが多く、東北南部では平年より遅く15日ごろ、東北北部では平年に比べ2週間程度遅い25日ごろ梅雨入りした。福島県では月降水量の少ない方からの極値を更新した所があった。月平均気温は東北地方の各地で高い値の極値・順位を更新した。特に、高気圧に覆われて晴れの日が多くかった下旬は、東北地方各地で平均気温は平年に比べてかなり高く、真夏日となる所があった。

月平均気温は、東北日本海側でかなり高く、東北太平洋側で高い。月降水量は、東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり少ない。月間日照時間は、東北北部で平年並、東北南部で多い。

7月： 梅雨前線や上空の寒気、オホーツク海高気圧からの冷たく湿った東風の影響で曇りや雨の日が多くかった。特に上旬は雨の日が多く、梅雨前線の活動の活発化や上空の寒気の影響で大雨となる日もあった。26～27日は台風第7号が三陸沖を北上したため東北太平洋側を中心に大雨や強風となった。

月平均気温は、東北地方で低い。月降水量は、東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。月間日照時間は、東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。

8月： 太平洋高気圧の強まる時期が平年に比べて遅く、梅雨明けは東北南部、東北北部共に8月4日ごろと平年より遅かった。広く太平洋高気圧に覆われた時期は一時的で、東北南部ではその縁をまわる湿った気流や前線の影響を受けやすく曇や雨の日が多くかった。東北北部ではその影響は小さく晴れの日が多くかった。大気の状態が不安定でにわか雨や雷雨となる日が多く、局地的な大雨となる日もあり、酒田では月降水量の多い方からの1位の記録となった。25～26日は台風第11号の影響で東北南部では大雨となった。

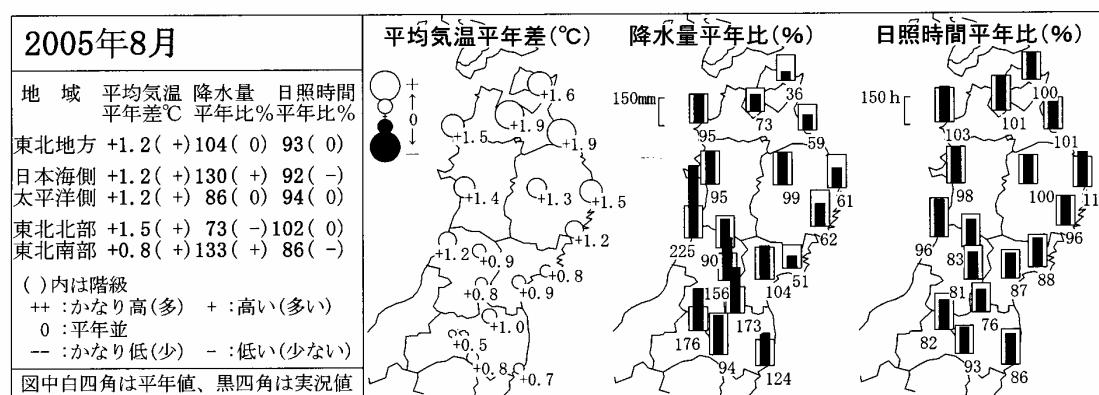
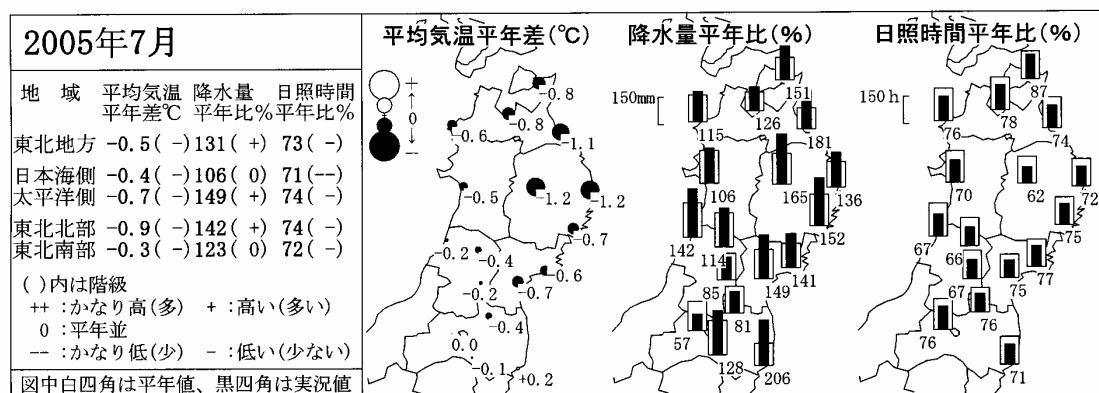
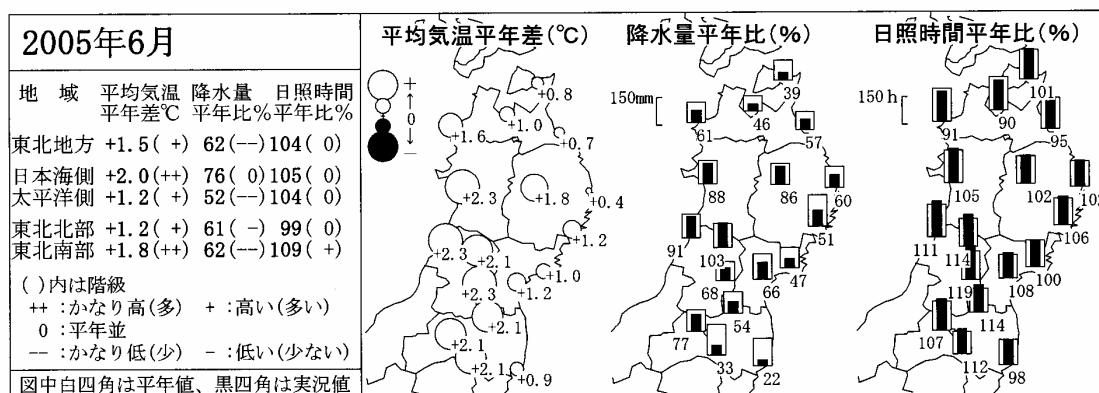
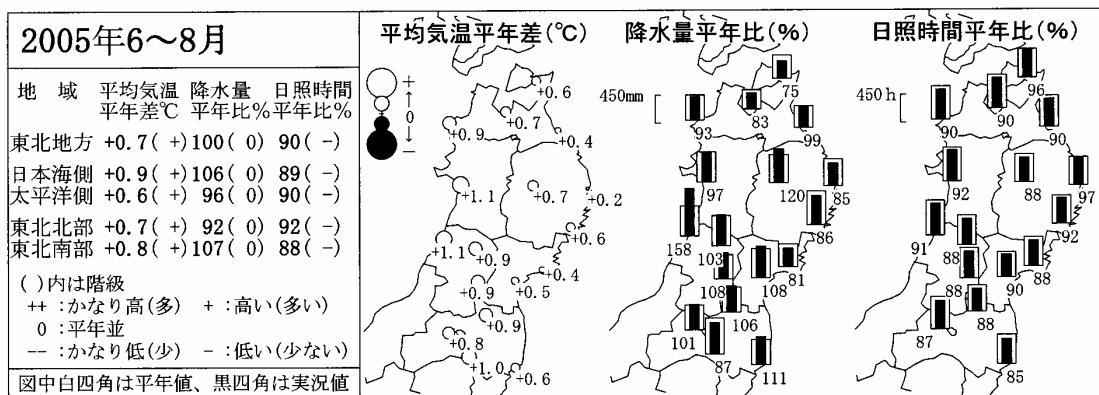
月平均気温は、東北地方で高い。月降水量は、東北北部で少なく、東北南部で多い。月間日照時間は、東北北部で平年並、東北南部で少ない。

注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2005年夏(6~8月)の季節・月平均(合計)値の平年差(比)



注) 東北日本海側: 青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側: 青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部: 青森県、秋田県、岩手県

東北南部: 宮城県、山形県、福島県

(4) 2005年夏(6~8月)の気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数	日照時間(平年比)		階級
	()	()		(mm)	(%)			1mm	(h)	
青 森	21.1	(+0.7)	+	261.5	(83)		25	493.4	(90)	-
深 浦	21.4	(+0.9)	+	383.5	(93)		30	491.2	(90)	-
む つ	19.5	(+0.6)	+	278.0	(75)	-	26	448.4	(96)	
八 戸	20.0	(+0.4)		351.5	(99)		28	460.9	(90)	-
秋 田	23.1	(+1.1)	+	474.5	(97)		31	504.6	(92)	-
盛 岡	21.7	(+0.7)	+	548.0	(120)	+	30	400.7	(88)	-
大 船 渡	21.0	(+0.6)	+	470.5	(86)		31	425.0	(92)	-
宮 古	19.6	(+0.2)		370.5	(85)		27	440.9	(97)	
仙 台	22.0	(+0.5)	+	511.0	(108)	+	38	368.3	(90)	-
石 卷	21.2	(+0.4)		301.0	(81)		30	415.0	(88)	-
山 形	23.4	(+0.9)	+	425.0	(108)		39	436.6	(88)	-
新 庄	22.5	(+0.9)	+	503.5	(103)		37	424.5	(88)	-
酒 田	23.6	(+1.1)	+	775.0	(158)	+ *	33	518.1	(91)	-
福 島	23.8	(+0.9)	+	430.0	(106)		37	371.0	(88)	-
若 松	23.5	(+0.8)	+	411.0	(101)		39	459.6	(87)	-
白 河	22.2	(+1.0)	+	509.0	(87)		46	345.5	()	
小 名 浜	21.9	(+0.6)	+	457.0	(111)		36	412.6	(85)	-

(注)・「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+ : 高い(多い) : 平年並 - : 低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めた。

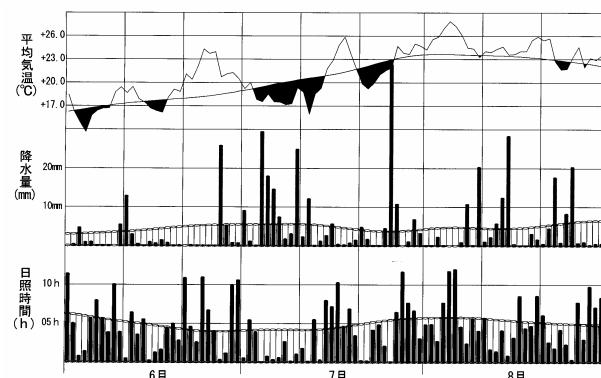
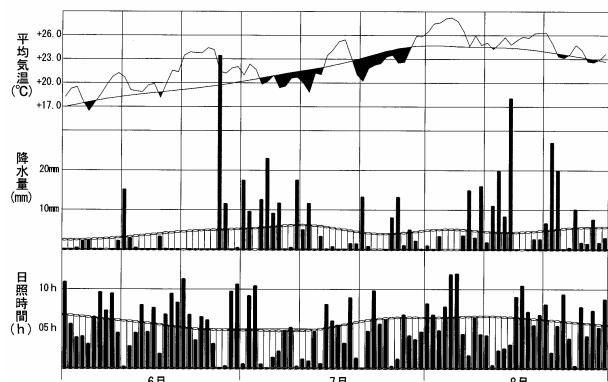
また、値が 1971～2000 年の観測値の上位または下位 10%に相当する場合には階級の「+ -」に* を付加した。この場合には

と表現できる。

- ・ 値の横に) や] がある場合には、3か月別値を求める際に使用したデータ（月別値）に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値（準完全値）は通常のものと同様に扱うことができるが、]付きの値（資料不足値）については、値の下に記載した統計月数（統計に用いた、品質が十分な月別値の数）を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なあ、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(5) 2005 年夏 (6 ~ 8 月) の日別経過図



〈東北日本海側〉

〈東北大平洋側〉

気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均(気温:実践と点線、降水量:日照時間:黒い柱と白抜き柱)

(6) 2005 年夏 (6 ~ 8 月) の極値・順位の更新
 (季節平均気温、季節降水量、季節日照時間の 3 位以内のみ)

なし

(7) 各月の極値更新
 (月平均気温、月降水量、月間日照時間の 1 位のみ)

月平均気温高い値の極値・順位更新

月	地点名	観測値()	これまでの最高	・起年	統計開始年	平年値()
6 月	新庄	20.8	20.5(1991)		1958	18.7
	若松	21.9	21.8(1979)		1954	19.8
	酒田	21.6	21.1(1984)		1937	19.3

月降水量の多い値の極値・順位更新

順位	地点名	観測値(mm)	これまでの最高 mm	・起年	統計開始年	平年値(mm)
8 月	酒田	395.0	388.7(1937)		1937	175.8

月降水量少ない値の極値・順位更新

月	地点名	観測値(mm)	これまでの最小 mm	・起年	統計開始年	平年値(mm)
6 月	白河	54.5	74.6(1960)		1940	167.6
	小名浜	33.0	42.5(1929)		1910	149.8

(8) 日最高気温 30 以上日の日数と今夏の最高気温

	6月			7月			8月			夏			今夏の最高気温 ()	(起日)
	04年	05年	平年	04年	05年	平年	04年	05年	平年	04年	05年	平年		
青森	1	2	0.4	7	1	3.9	8	7	7.6	16	10	11.9	34.0	8月5日
深浦	0	0	0.0	4	0	1.4	6	6	3.9	10	6	5.2	31.5	8月2日
むつ	0	0	0.1	6	1	2.1	3	5	4.0	9	6	6.2	31.6	8月5日
八戸	0	2	0.6	10	1	5.2	8	9	7.4	18	12	13.2	34.3	8月2日
秋田	1	2	0.2	8	0	4.9	10	16	9.7	19	18	14.8	33.8	8月4日
盛岡	1	1	0.8	13	4	6.5	9	13	10.1	23	18	17.4	35.5	8月6日
大船渡	2	2	0.4	7	2	3.4	6	8	5.7	15	12	9.6	34.4	8月4日
宮古	0	1	0.6	12	4	4.4	7	9	6.8	19	14	11.7	32.9	8月5日
山形	6	10	2.4	20	10	11.7	16	17	17.5	42	37	31.6	36.4	8月6日
酒田	2	3	0.5	12	3	6.5	11	20	12.6	25	26	19.6	34.4	8月4日
新庄	0	6	1.1	14	6	7.9	14	16	13.0	28	28	22.0	35.6	8月6日
仙台	2	2	0.4	11	4	5.1	14	11	9.9	27	17	15.4	34.2	8月5日
石巻	1	1	0.1	3	0	2.3	5	5	4.8	9	6	7.2	32.6	8月5日
福島	11	8	3.4	21	10	13.3	22	20	18.1	54	38	34.9	36.7	8月5日
若松	9	6	2.2	17	8	12.1	16	18	18.4	42	32	32.7	36.7	8月6日
白河	1)	4	0.6	14	7	6.8	13	14	10.7	28	25	18.2	34.9	8月5日
小名浜	1	0	0.3	3	4	1.9	6	3	3.8	10	7	6.0	33.7	7月27日

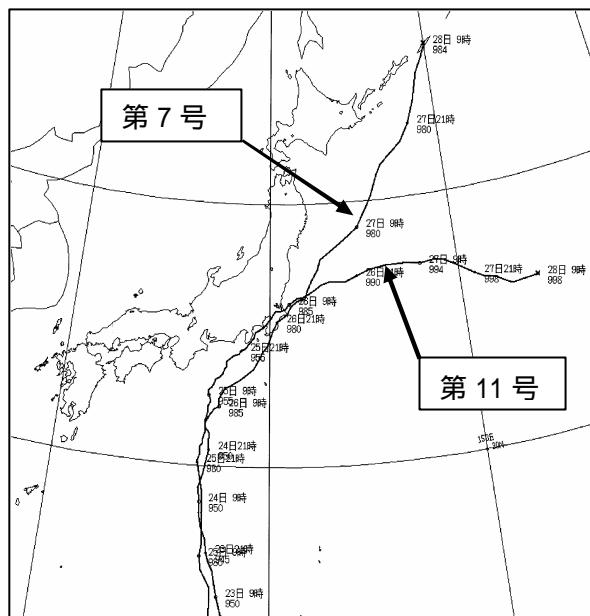
括弧付きの値は、欠測を含む値であることを示す。

(9) 2005 年夏 (6~8 月) に日本に上陸した台風

今年の台風は、1月15日に台風第1号が発生して以来、8月31日現在14個発生している。夏(6~8月)の台風発生数は平年(11.2個)とほぼ同じく10個、上陸数も平年(1.5個)とほぼ同じく2個であった。

7月22日に発生した台風第7号は、26日に千葉県に上陸した後再び海上に抜け、三陸沖を北上し26~27日にかけ東北太平洋側に大雨と強風をもたらした。

8月20日に発生した台風第11号は、26日に千葉県に上陸した後、再び太平洋に出て東進した。東北南部は25~26日にかけ大雨となった。



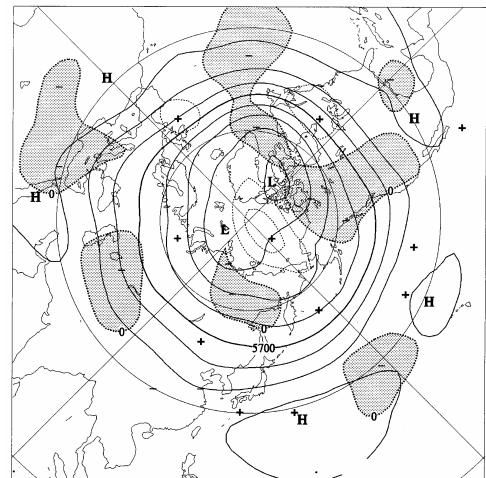
2005年夏に上陸した台風の経路図

今年と平年の月別の台風発生数と上陸数 (2005年8月31日現在)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
発生数	今年	1		1	1	1		5	5					
	平年	0.5	0.1	0.4	0.8	1.0	1.7	4.1	5.5	5.1	3.9	2.5	1.3	26.7
上陸数	今年							1	1					
	平年						0.2	0.5	0.9	0.9	0.1	0.0		2.6

(10) 2005 年夏 (6~8 月) の大気の流れの特徴

夏(6~8月)の500hPa高度では、極が正偏差となり寒気は放出傾向だが、極周辺の負偏差は高緯度で止まり、中緯度から低緯度にかけては正偏差の地域が多かった。日本の南で太平洋高気圧は平年に比べ西へ張り出しており、東北地方は高気圧の縁をまわる暖かく湿った気流の影響をしばしば受け、梅雨明け後も夏型は安定せず東北南部を中心に曇や雨の日多かった。また、日本付近の中緯度帯は広く正偏差に覆われ東北地方の平均気温は高かった。一方、オホーツク海は北部を中心に負偏差で、オホーツク海高気圧の出現が7月の一時期だったことを示している。



2005年夏(6~8月)平均500hPa高度等高度線:60m毎、偏差:30m毎、陰影部:負偏差

(11) 2005 年 (平成 17 年) 梅雨入り・梅雨明け

2005年(平成17年)梅雨入り・梅雨明け

地方	梅 雨 入 り			梅 雨 明 け		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
沖縄	5月2日頃	5月8日頃	5月5日頃	6月27日頃	6月23日頃	6月23日頃
奄美	5月5日頃	5月10日頃	5月14日頃	6月27日頃	6月28日頃	6月24日頃
九州南部	6月11日頃	5月29日頃	5月29日頃	7月15日頃	7月13日頃	7月11日頃
九州北部	6月10日頃	6月5日頃	5月29日頃	7月17日頃	7月18日頃	7月11日頃
四国	6月11日頃	6月4日頃	5月29日頃	7月16日頃	7月17日頃	7月13日頃
中国	6月11日頃	6月6日頃	5月29日頃	7月18日頃	7月20日頃	7月13日頃
近畿	6月11日頃	6月6日頃	6月6日頃	7月18日頃	7月19日頃	7月13日頃
東海	6月11日頃	6月8日頃	6月6日頃	7月18日頃	7月20日頃	7月13日頃
関東甲信	6月10日頃	6月8日頃	6月6日頃	7月18日頃	7月20日頃	7月13日頃
北陸	6月27日頃	6月10日頃	6月6日頃	7月18日頃	7月22日頃	7月22日頃
東北南部	6月15日頃	6月10日頃	6月7日頃	8月4日頃	7月23日頃	7月22日頃
東北北部	6月25日頃	6月12日頃	6月19日頃	8月4日頃	7月27日頃	7月22日頃

梅雨は季節現象であり 梅雨入りまたは明けは、平均的に 5 日間程度の「移り変わり」の時期があります。

平年の時期は1971年～2000年